

税の作文・標語 受賞者の紹介

税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的とした、「税の作文」及び「税の標語」の入選作品が決定しました。今年、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、湯浅中学校の生徒のみで表彰式を行いました。

中学生 作文の部

【湯浅税務署長賞】

「意識改革で大きく変わる」

湯浅中学校三年

松原なのは

【湯浅町長賞】

「税で届ける幸せ」

湯浅中学校三年

白水 佑奈

【有田納税貯蓄組合連合会会長賞】

「税金に対する思い」

湯浅中学校三年

西野 結愛

【公益社団法人湯浅納税協会会長賞】

「税のつながり」

湯浅中学校二年

西野 亮太郎

【近畿税理士会湯浅支部長賞】

「命を救う税金」

湯浅中学校一年

波田 祥歩

中学生 標語の部

【湯浅税務署長賞】

「繋ぐ税 君と未来と その先へ」

湯浅中学校一年

湯川 真帆

【湯浅町長賞】

「次世代に 残していこう 税の意味」

湯浅中学校三年

濱井 琳羅

標語の部に入選した作品については湯浅駅前
の標語の塔に掲載しています。

高校生 作文の部

【和歌山県租税教育推進連絡協議会賞】

「水と薬と木」

和歌山県立耐久高等学校一年

長岡 優伽

【有田地方租税教育推進協議会会長賞】

「税の未来を考える」

和歌山県立耐久高等学校一年

棚野 潤太

受賞された皆様、おめでとうございます。
今回、受賞者の作品から、松原なのはさんと白水佑奈さんの作文を紹介します。



湯浅税務署長賞 松原なのはさん



湯浅町長賞 白水佑奈さん



令和3年11月24日に行われた表彰式の様子

湯浅税務署長賞 受賞

意識改革で大きく変わる

湯浅中学校三年 松原なのは

私にとって「税金」というものの存在意識は低いものでした。しかし、最近、税金について身近に感じる出来事がありました。

今、世界中では、コロナウイルスによる被害が大きな問題になっています。日本でも多くの命が奪われています。さらに、奪われているのは命だけでなく私たちの部活動の大会や学校行事までもが中止になってしまいました。仕方ないことだけとぞこく悔しいです。そこで以前よく聞いた言葉は、「ワクチンさえ広がれば...」

「もっと感染予防対策の設備がととのえば...」

「無料やで。」

と教えてくれました。そのことを聞いた私は、なぜか考えました。私はすぐに税金のおかげだということが分かりました。それと同時に税金の偉大さに気づきました。

「税金は高い。」そう思う人もいるのは事実です。しかし、このような税金の制度があるから、病院に行ける、整った道路を走れる、平等に教育が受けられる、コロナのワクチンがうてる。他にもたくさん助けられているんだと思います。私たちは今年、中学校最後の総合体育大会が行われます。これも、きちんとコロナの感染予防対策やワクチンが広まったからです。税金と直接関わっていません。税金は、まわりまわって、日本の豊かな暮らしを一人一人支えてくれている。私はそう思います。

私はまだ中学三年生です。そんな私でも、少し税金について考えることで税金に対しての存在意識が大きく変わりました。だから、一生懸命お仕事をし、日本を支えてくれている大人の人たちにも、もっと税金についての意識を変えていってほしいです。大人の人たちの力はとも大きいものだと思っています。全員が少し、税金に対しての意識を変え、これだけで、日本はさらに大きく進歩するのではないのでしょうか。

湯浅町長賞 受賞

税で届ける幸せ

湯浅中学校三年 白水佑奈

母が私に何気なく言った。

「住民税の支払いが今日までだったから、ちよつと銀行に行ってくるね。」と。私は両親が働いてきてくれたお金が、税金を納めるために使われると思うと、正直いやな気持ちになった。ニュースでは消費税が上がったことで価格の表示をどうするか、といった問題が取り上げられていた。税金が無ければ、いろいろな問題は起こらないのに。私は税金に対して、あまり良いイメージを持っていなかった。

しかし学校の授業で税金について学んだことで、税金に対するイメージが一八〇度変わった。例えば、私たちが使っている教科書も税金が使われている。おかげで私たちは無償で教科書を支給されているのだ。私は税金の使われ方の一部を知り、もっと税金について知りたいと思った。私たちの身近なもので、税金によって支払われているものとは何だろうか。

私は病院に行ったときに税金の使われ方を改めて身近に感じた。本当だったら病院へいくと多額の医療費を払う必要があるのに、私たちは医療保険という制度に支えられている。その医療保険の不足分は税金で補ってこれていることを初めて知った。さらに詳しく調べると、命を救う救急車も自治体の

税金が使われていることで無料で呼ぶことができたのだ。

私は税金の身近な使われ方を知って、税金は日本に無くてはならない大切な存在だと思った。税金があることによって、多くの命が救われていることや税金が私たちの健康を支えてくれていることを知ってうれしくなった。もっとも、いろいろな人に税金の使われ方を知ってもらいたい。この作文で少しでも税金について考えてくれる人が増えるとうれしい。私たちは改めて思われていることを実感した。それと同時に私たちを支えてくれているのだからと想像するとこわくなった。

私は次の世代にもより良い社会を残すために、税という手助けを続けていきたい。私たちが納めた税によって、私たちの健康な生活は守られている。税は健康を届けると同時に幸せも届けてくれるのだと思う。これから納税者となっていくことは、もっと税について知っていくことが大切だ。税の使われ方を知ること、税に対してマインドなイメージをもつ人が一人でも減ってくるとうれしい。税の存在に感謝しながら、私もより良い社会をつくるために頑張っていきたい。